

## 平成29年度 弘前大学教員免許状更新講習 シラバス

開設者	弘前大学	講習番号	C29		
必修・選択必修・選択区分	選択領域	講習時間数	6時間	受講予定人数	20名
対象職種	教諭	主な対象者	中学校・高等学校 国語科教諭		
講習の名称	言語運用能力;国語表現法と「やさしい日本語」				
開設日	平成29年8月5日(土)	開催地	青森県弘前市		
講習会場	弘前大学 (弘前市文京町1番地)				
講師氏名	佐藤 和之(弘前大学)				
講習内容	<p>災害時の外国人に伝える情報の表現法について研究している。外国人にも伝えねばならない重要な情報を抜き出し、日本在住1年でも理解する日本語に言い換える。これにより日本に住む9割以上の外国人が適切な避難行動を取れるようになる。言い換えた日本語はまた、多言語に翻訳しても誤解のない表現となる。</p> <p>講習では研究成果に基づき、教員が国語教育に活用でき、また生徒の国語表現能力も育つよう「的確な情報選択の方法」と「国語表現能力」「相手意識」「生きる力を育てるための言語運用能力」について実践に基づいて講義する。</p>				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や教室の国際化に伴うコミュニケーションの考え方を身につけます。</li> <li>・多くの情報から、本当に必要な情報を抜き出す技能を身につけます。</li> <li>・情報を的確に表現する能力を身につけます。</li> <li>・相手に行動を起こさせる「日本語運用能力」とは何かを考えられる能力を身につけます。</li> </ul>				
講習方法等	<p>【講義の後、演習形式】</p> <p>国語科新学習指導要領での3領域1事項「①国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成 ②伝え合う力を高める ③思考力や想像力及び言語感覚を養う④国語に対する感心を深め国語を尊重する態度を育てる」について、「やさしい日本語」という具体的な表現をもとに考えます。</p>				
時間割	<p>(時間)</p> <p>9:00 ~ 9:30 受付</p> <p>9:30 ~ 9:40 オリエンテーション「やさしい日本語」とはどんな日本語か</p> <p>9:40 ~ 12:00 災害が発生したとき、情報はどう伝わるか</p> <p>12:00 ~ 12:30 災害発生下で日本語が分からない人たち</p> <p>13:30 ~ 16:00 伝えるべき情報を整理する</p> <p>16:00 ~ 16:30 理解率が30%の日本語を90%の表現に言い換える方法</p> <p>16:30 ~ 16:45 評価書記入</p> <p>※休憩時間は適宜設けます。</p>				
履修認定の方法	筆記試験				
成績評価の方法・基準等	試験と演習の作業実績によって評価します。合格基準は60点以上です。				
教材等	講義中に資料を配付します。				
備考	授業参加希望者は事前にネットで「やさしい日本語」をキーワードとして、弘前大学・社会言語学研究室のホームページを参照ください。				